

環境調査結果のお知らせ

令和7年7月29日9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で20 cells/mL、シャットネラ属が最高で64 cells/mL、タカヤマ属が1,800 cells/mL確認されました。昨日に引き続き、シャットネラ属は10 cells/mL（注意基準値）を上回っています。今後、シャットネラ属及びタカヤマ属はさらに増殖する可能性がありますので、十分注意してください。

また、すべての定点において表層水温が30℃を超えています。さらに、すべての定点において底層が、福良、光松及び大鹿では底層に加えて10 m層も貧酸素状態となっていますので、十分注意してください。

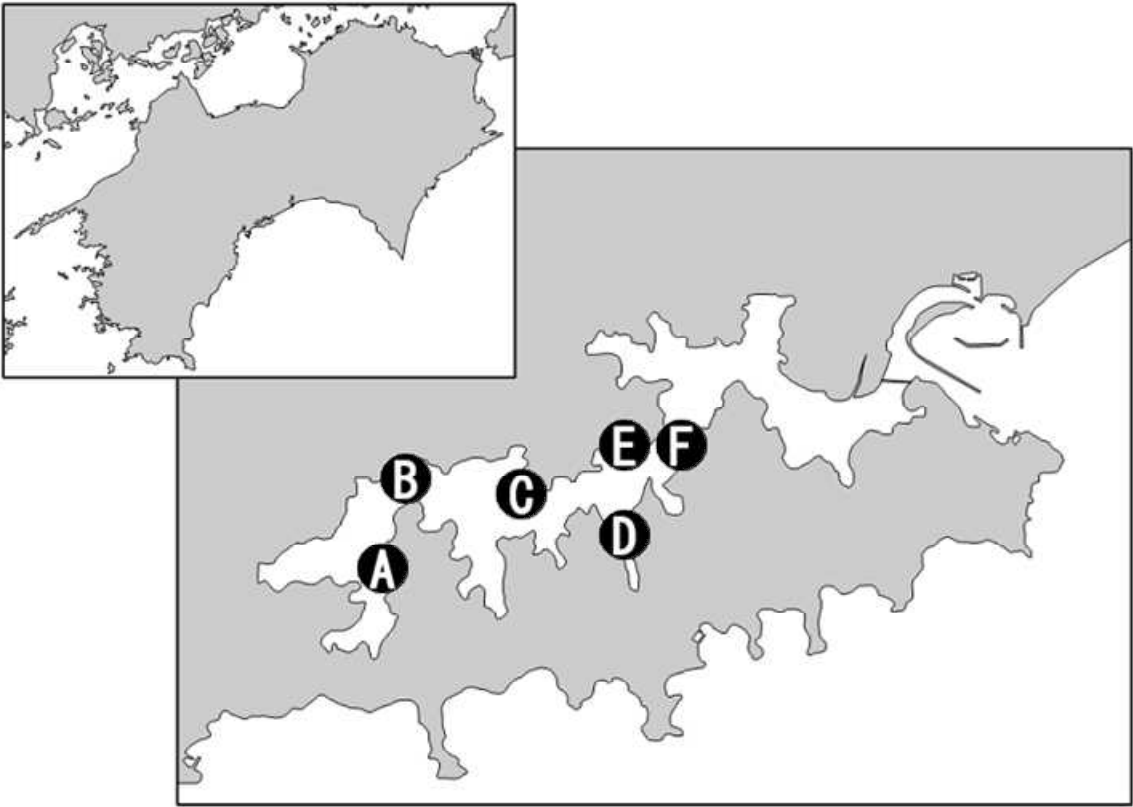
海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	ヘテロシグマ・ アカシオ	シャットネラ 属	タカヤマ 属	珪藻
	(m)	(℃)		(mg/L)				
A 鳴無 (5.6m) 【09:27】	0	29.6	18.0	8.3	0	0	0	-
	2	30.5	27.6	8.1	0	0	0	-
	5	29.5	28.6	7.2	0	0	150	-
	底層	9	28.6	29.6	1.9	0	100	-
B 中学校前 (5.2m) 【09:35】	0	30.0	18.0	8.4	0	0	40	3,900
	2	30.6	27.6	9.0	0	0	340	140
	5	29.5	28.5	8.1	0	8	1,800	140
	10	28.3	30.1	1.2	0	19	60	200
	底層	12.5	27.2	31.0	0.0	0	0	240
C 目ノクソ (4m) 【09:46】	0	30.6	18.1	8.3	20	0	20	-
	2	30.6	27.2	7.8	0	0	50	-
	5	29.5	28.4	7.1	0	31	60	-
	10	28.5	29.7	3.1	0	1	0	-
	底層	15.5	26.9	31.1	0.1	0	0	-
D 福良 (4.2m) 【09:56】	0	29.7	20.5	8.4	0	0	70	-
	2	30.5	27.7	8.2	0	0	70	-
	5	29.3	28.7	6.6	0	21	260	-
	10	28.5	29.5	2.5	0	64	2	-
	底層	11.5	28.1	30.2	1.0	0	0	-
E 光松 (3.9m) 【10:11】	0	31.1	19.7	7.9	0	0	60	6,400
	2	30.2	27.5	7.5	0	0	50	680
	5	29.3	28.6	6.3	0	5	100	140
	10	28.5	29.7	3.5	0	0	0	70
	底層	17	26.8	31.2	0.0	0	0	20
F 大鹿 (3.6m) 【10:19】	0	30.8	19.0	7.9	0	0	80	-
	2	29.9	27.8	7.2	0	0	70	-
	5	29.3	28.7	6.1	0	1	80	-
	10	28.5	29.8	3.9	0	0	0	-
	底層	16.5	26.8	31.2	0.0	0	0	-

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3
				浦ノ内湾
ヘテロシグマ・アカシオ	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3～12月
シャットネラ属	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月
タカヤマ属	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度
※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度
※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



- A: 鳴無
- B: 中学校前
- C: 目ノクソ
- D: 福良
- E: 光松
- F: 大鹿